

平成 27 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費 (AMED) に係る

利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 28 年 1 月 19 日

研究開発課題名 (実施内容) : タウリンによる MELAS 脳卒中様発作再発抑制療法の実用化

研究開発代表者 : 神経内科学 教授 砂田 芳秀

研究開発分担者 : 神経内科学 准教授 村上 龍文

研究開発分担者 : 神経内科学 講師 大澤 裕

川崎医科大学 神経内科学 教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として複数の企業からの奨学寄附金があるが、これらは当学園にて受け入れ、管理されている。

本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査を行い、適正に管理されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 26 年度における奨学寄附金の提供団体を以下に示す。

企業名 : エーザイ株式会社、エフピー株式会社、大塚製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、
協和発酵キリン株式会社、第一三共株式会社、大日本住友製薬株式会社、
武田薬品工業株式会社、帝人ファーマ株式会社、一般社団法人日本血液製剤機構、
ユーシービージャパン株式会社、日本新薬株式会社